

## VMware vSphere ESXi 5 におけるサーバ監視の留意事項

このたびは弊社の製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。  
PRIMERGY のサーバ監視・管理ソフトウェア「ServerView Operations Manager(SVOM)」、「ServerView ESXi CIM Provider」及び「ServerView RAID Manager」につきまして、VMware vSphere ESXi 5 をインストールしたサーバ上で利用する際は以下の留意事項があります。  
導入前に必ず本書をお読みのうえ、ご使用くださいますようお願いいたします。

### 【重要】

VMware vSphere ESXi 5 でサーバ監視・管理を行うには、リモートマネジメントコントローラ(iRMC)を使用した、サーバ監視・管理を行うか、または、監視対象サーバ用エージェントソフトウェアとして、ServerView ESXi CIM Provider を使用します。

推奨監視手段は iRMC を使用した、サーバ監視・管理です。

iRMC を使用した、サーバ監視・管理についての詳細は以下のマニュアルを参考にしてください。

ServerView Operations Manager を利用して iRMC 監視を行う場合

- ・ ServerView Agentless Management 概要

iRMC Web インターフェースを利用して監視を行う場合

- ・ iRMC Web インターフェース

その他、iRMC に関する取扱説明書

- ・ iRMC コンセプトとインターフェース
- ・ iRMC コンフィグレーションとメンテナンス

iRMC を使用した、サーバ監視・管理と ServerView ESXi CIM Provider との機能差については、本書の「■監視方法による機能比較(SVOM)」をご参照ください。

VMware vSphere ESXi 5 では、ServerView Agents は使用できません。これにより、VMware ESX 4(ServerView Agents を使用)と比較して、VMware vSphere ESXi 5(ServerView ESXi CIM Provider を使用)では、ServerView Operations Manager で監視できない項目や利用できない機能があります。

このため、VMware ESX 4 をお使いで、VMware vSphere ESXi 5 にアップグレードした場合、結果的に ServerView Operations Manager の一部の機能が利用できなくなります。予めご留意願います。

※ ServerView ESXi CIM Provider は、富士通専用のインストールイメージ / オフラインバンドルにあらかじめ含まれています。なお、富士通ダウンロードサイトではこれらに添付されているバージョンより新しい ServerView ESXi CIM Provider が公開されている場合があります。

### 【本体監視について】

#### 1. 監視対象サーバ用エージェントソフトについて

VMware ESXi5 をインストールしたサーバを監視するためには、リモートマネジメントコントローラを使用した、サーバ監視・管理を行うか、または、ServerView ESXi CIM Provider をインストールする必要があります。

ServerView Agents、ServerView Agentless Service、および、ServerView Operations Manager はインストールできません。

監視対象サーバ(利用環境)とインストールが可能な監視ソフトの種別については以下をご参照ください。

[監視対象サーバ用エージェントソフト及び管理サーバ用マネージャソフトのインストール可否]

監視対象サーバ		VMware ESXi	Windows	Linux	ゲストOS
ソフトウェア名称	ServerView ESXi CIM Provider	○	×	×	×
	ServerView Agents	×	○	○	×
	ServerView Agentless Service	×	○	○	×
	ServerView Operations Manager (SVOM)	×	○	○	○
	ServerView RAID Manager	×	○	○	○

○:インストール可 ×:インストール不可

※ ServerView Operations Manager / ServerView RAID Manager を利用して、ESX/ESXi を含むシステムを監視・管理する場合は、別途管理用のサーバ(WindowsまたはLinux、仮想マシン上のゲストOSでも可)が必要です。

※ ServerView Agents はV6.00 以降のバージョンでは、VMware の仮想マシン(ゲストOS)上にインストールすることはできません。

## 2. ServerView ESXi CIM Provider のインストールについて

ServerView ESXi CIM Provider は、「VMware vSphere CLI」の「esxcli」コマンドを使用してインストールします。

インストール手順の詳細については、「ServerView ESXi CIM Provider VMware vSphere ESXi 5 インストールガイド」をご参照ください。

## 3. ServerView ESXi CIM Provider の機能について

VMware vSphere ESXi 5 用の ServerView ESXi CIM Provider は、イベント通知機能として、CIM Indication (ServerView Agents の SNMP トラップに相当)を使用します。

これにより、ServerView Operations Manager V5.30.06 以降を使用することで、ServerView ESXi CIM Provider からの CIM Indication を受信でき、アラームアクション(メール送信、ServerView Operations Manager がインストールされたシステムへのイベントログ記録など)を実行できます。

なお、ServerView ESXi CIM Provider による SNMP トラップ送信(SNMP は使用しません)/イベントログ(VMware ESXi のシスログ)記録のアラート機能は未サポートです。

ServerView ESXi CIM Provider で使用できる機能については本ドキュメントの「監視対象サーバ別機能比較」をご参照ください。

## 4. ESXi のアップグレードを行う場合

VMware ESX 4 / VMware ESXi 4 に ServerView Agents、または、ServerView ESXi CIM Provider をインストールされている場合、VMware vSphere ESXi 5 にアップグレードする前にアンインストールしてください。

また、それ以外のバージョンの VMware vSphere ESXi のアップグレードを行う場合にも、ServerView ESXi CIM Provider をアンインストールし、アップグレード後に再インストールすることを推奨します。

※ 富士通専用のインストールイメージ / オフラインバンドルを用いてアップグレードを行った場合、ServerView ESXi CIM Provider は自動的にインストールされます。なお、富士通ダウンロードサイトではこれらに添付されているバージョンより新しい ServerView ESXi CIM Provider が公開されている場合があります。

## 5. ServerView Operations Manager のサーバ監視について

ServerView Operations Manager を利用して VMware vSphere ESXi 5 のサーバ監視を行うには、別途管理サーバ(Windows/Linux 上で動くサーバ、ゲスト OS でも可)を準備して、ServerView Operations Manager をインストールする必要があります。

VMware vSphere ESXi 5 のサーバ監視を行うには、ServerView Operations Manager V5.01.03 以降が必要です。また、VMware vSphere ESXi 5 用の ServerView ESXi CIM Provider からの CIM Indication (イベント)受信を行なう場合は、ServerView Operations Manager V5.30.06 以降が必要です。

ServerView ESXi CIM Provider V5.30.04 ~ V6.21.06 を使用する場合は、ServerView Operations Manager V5.50.09 ~ V6.21.08 が必要です。

ServerView ESXi CIM Provider V6.31.10 以降を使用する場合は、ServerView Operations Manager V6.31.03 以降が必要です。

SVOM 経由でのリモートマネジメントコントローラを使用した、サーバ監視・管理を行うには、ServerView Operations Manager V7.00.05 以降が必要です。

なお、VMware vSphere ESXi サーバに対して、複数クライアントから情報収集等のアクセスが同時に行われた際、正常に応答が返らない場合があるため、1 台の VMware vSphere ESXi サーバを複数の ServerView Operations Manager で監視する運用は推奨しません。

## 6. vCenter Server V5.x と ServerView Operations Manager の同一サーバへのインストールについて

ServerView Operations Manager V6.10.05 以降の場合、vCenter Server V5.x と ServerView Operations Manager を同一サーバにインストールすることが可能です。

ServerView Operations Manager V7.11 の場合、以下の手順で ServerView Operations Manager V7.11 でネットワークポートの 8009 番を使用しないようにする必要があります。

既に vCenter Server 5.x がインストールされている場合は、この手順の実施後、vCenter Server のサービスを再起動してください。

### 1. ServerView Operations Manager の停止

#### ① Windows の管理ツール「サービス」を起動します

Windows Server 2008 R2 の場合：

「スタート」メニュー → 「すべてのプログラム」 → 「管理ツール」 → 「サービス」を起動します。

図 1 の「サービス」画面が表示されます。

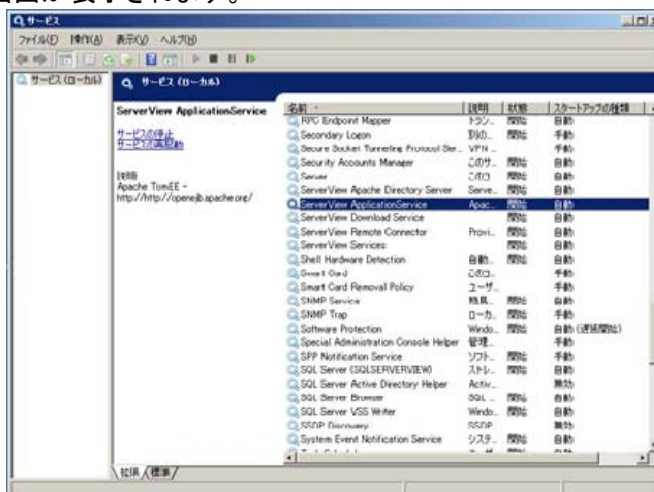


図 1 Windows Server 2008 R2「サービス」画面

Windows Server 2012 R2 の場合：

「スタート」メニュー → 「管理ツール」 → 「サービス」を起動します。

図 2 の「サービス」画面が表示されます。

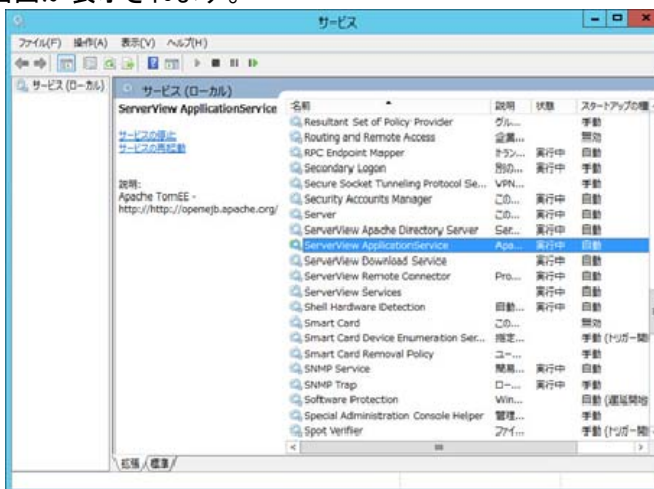


図 2 Windows Server 2012 R2 「サービス」画面

② 関連サービスを停止します

(ア)「サービス」一覧内の「ServerView Download Service」を右クリックし「停止(O)」を実行します。図 3 のようにプログレスバーが表示されるので、サービスの停止が終わるまで待ちます。

注意:環境によってはしばらく時間がかかる場合があります。

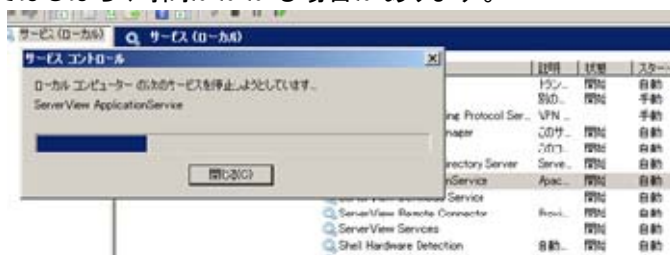


図 3 サービス停止中のプログレスバー

(イ) 図 3 が閉じ「サービス」の「ServerView Download Service」の「状態」に何も表示されていないことを確認します。

(ウ)同様に、「ServerView Services」、「ServerView ApplicationService」、「ServerView Apache Directory Server」サービスの順にサービスの停止を行います。

2. 設定ファイルの編集

① 以下の設定ファイルをテキストエディタ(Windows 標準のメモ帳等)で開きます

32ビット OS の場合:

C:\¥Program Files¥Fujitsu¥ServerView Suite¥tomee¥conf¥server.xml

64ビット OS の場合:

C:\¥ Program Files (x86) ¥Fujitsu¥ServerView Suite¥tomee¥conf¥server.xml

注意:誤って編集してしまった時の為に、編集前のファイルを名前を変えて保存しておくことをお勧めします。

② 以下のように server.xml ファイルの内容を変更します

変更前:

```
<!-- Define an AJP 1.3 Connector on port 8009 -->  
<Connector port="8009" protocol="AJP/1.3" redirectPort="8443" />
```

変更後:(変更箇所を赤太文字で表示)

```
<!-- Define an AJP 1.3 Connector on port 8009 -->  
<!--  
<Connector port="8009" protocol="AJP/1.3" redirectPort="8443" />  
-->
```

③ ファイルを保存します

テキストエディタにてファイルの保存を行います。

3. ServerView Operations Manager の起動(設定ファイル変更の反映)

手順 2 で変更した設定内容を反映させます。

① 手順 1 の①と同様の手順で Windows の管理ツール「サービス」を起動します

② 関連サービスを開始します

(ア)「サービス」一覧内の「ServerView Apache Directory Server」を右クリックし「開始(S)」を実行します。図 3 と同様にプログレスバーが表示されるので、サービスが開始するまで待ちます。

(イ) 図 3 が閉じ「サービス」の「ServerView Apache Directory Server」の「状態」が「開始」となっている事を確認します。

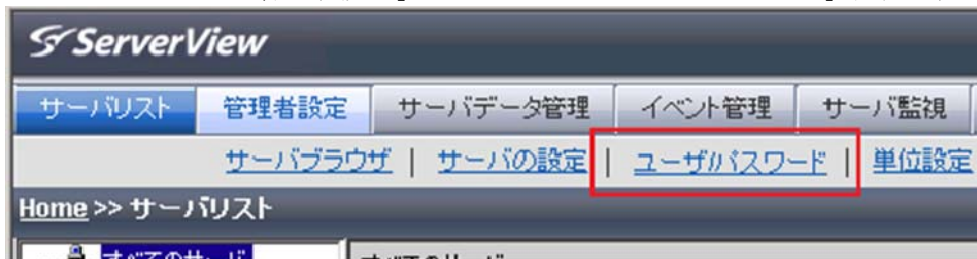
(ウ)同様に、「ServerView ApplicationService」、「ServerView Services」、「ServerView Download Service」サービスの順にサービスを開始します。

7. ServerView Operations Manager への VMware vSphere ESXi 5 サーバのユーザパスワードの登録について

ServerView Operations Manager で ServerView ESXi CIM Provider を利用して VMware vSphere ESXi 5 の監視を

行うには、監視対象サーバのユーザ/パスワードを登録する必要があります。  
以下の手順でユーザ/パスワードを登録してください。

- ① サーバリストから「管理者設定」メニュー「ユーザ/パスワード」画面を開きます。



- ② 「ユーザ/パスワード」画面において、VMware vSphere ESXi サーバにアクセス可能なユーザ名/パスワードを設定し、ノードタイプを「VMware」に設定します。

ユーザパスワード設定

	ユーザ名*	パスワード*	パスワード確認*	ノードタイプ:	コメント:
<input type="checkbox"/>	admin	*****	*****	BMC	
<input type="checkbox"/>	root	*****	*****	VMware	
<input type="checkbox"/>				すべてのタイプ	
<input type="checkbox"/>				すべてのタイプ	
<input type="checkbox"/>				すべてのタイプ	
<input type="checkbox"/>				すべてのタイプ	

\* 必須項目

※ 監視には最低限、CIM 相互作用の権限を持ったユーザ名/パスワードが必要になります。該当の権限を持ったユーザの作成方法は『ServerView Operations Manager』取扱説明書の「制限されたユーザアカウント (読み取り専用)」を使用して、ServerView Operations Manager と ServerView RAID の両方またはいずれか一方で VMware ESXi ホストを監視する」の項を参照願います。

## 8. VMware vSphere ESXi 5 のロックダウンモードについて

VMware vSphere ESXi 5 のロックダウンモードが有効になっている場合、ServerView Operations Manager で監視を行うことは出来ません。

## 9. ServerView ESXi CIM Provider によるシステムシャットダウン機能について

ServerView ESXi CIM Provider によるシステムシャットダウン機能は未サポートです。  
このため以下の動作を実行してもシステムシャットダウンは行われません。

- ・ServerView Operations Manager
  - 「シャットダウン後電源オフ」
  - 「シャットダウン後リセット」
  - 「ソフトシャットダウン」
- ・iRMC Web インターフェース
  - 「電源切断(シャットダウン)」
  - 「リセット(シャットダウン)」

## 10. SVOM クライアント(ブラウザ)と VMware vSphere ESXi 5 のサーバ間の通信について

VMware vSphere ESXi のサーバ監視を行う場合、従来の SVOM と監視対象間の通信に加えて、以下の通信経路が必要となります。

SVOM クライアント(ブラウザ) <--> VMware vSphere ESXi 5 サーバ TCP 5988/5989

上記の通信ではシングルシステムビューでの対象サーバの監視情報の取得などを行いません。

## 11. CIM Indication で使用されるポートについて

ServerView Operations Manager 上から ServerView ESXi CIM Provider がインストールされた VMware vSphere ESXi 5 サーバに対して接続テストを行う場合、または CIM Indication を使用してイベント通知が行われる場合、VMware vSphere ESXi 5 サーバのファイアウォール設定に対し、自動的に[dynamicruleset(3170 ポート)] (SVOM V7.20.07 以前の場合)、または[dynamicruleset(3169 ポート)] (SVOM V7.20.08 以降の場合)が設定されます。

本ポートを閉じてしまうとイベント通知機能は使用できなくなります。

## 12. 「接続テスト」について

「接続テスト」の結果は、SVOM のバージョンにより異なります。

### 1) SVOM 5.50 以降の場合

結果は下図のとおりです。

なお、ServerView ESXi CIM Provider は SNMP をサポートしていないため、「SNMP」がタイムアウトと表示されます。

この結果は正常ですので、問題ありません。

<input checked="" type="radio"/> In-band接続	<input type="radio"/> Out-of-band接続
<b>svom208 - 10.21.136.208</b>	
<input checked="" type="checkbox"/> 一般的な接続:	TCP/IP: Ok
<input type="checkbox"/> SNMP:	タイムアウト
<input checked="" type="checkbox"/> ノードタイプ:	サーバ, 管理可能, ESX Server接続: Ok
<input checked="" type="checkbox"/> テストトラップ:	テストトラップを受信しました
OK    リトライ    ヘルプ	

### 2) SVOM 5.30 の場合

結果は下図のとおり、サーバリストのツリーから実行した場合と、リストから実行した場合で結果の一部（ノードタイプ）が異なります。

また、ServerView ESXi CIM Provider は SNMP をサポートしていないため、「SNMP」がタイムアウトと表示されます。

この結果は正常ですので、問題ありません。

<ツリーから実行した場合>

<input checked="" type="radio"/> In-band接続	<input type="radio"/> Out-of-band接続
<b>svom208 - 10.21.136.208</b>	
<input checked="" type="checkbox"/> 一般的な接続:	TCP/IP: Ok
<input type="checkbox"/> SNMP:	タイムアウト
<input checked="" type="checkbox"/> ノードタイプ:	サーバ, 管理可能, ESX Server接続: Ok
<input checked="" type="checkbox"/> テストトラップ:	テストトラップを受信しました
OK    リトライ    ヘルプ	

<リストから実行した場合>

<input checked="" type="radio"/> In-band接続	<input type="radio"/> Out-of-band接続
<b>svom208-host - 10.21.136.208</b>	
<input checked="" type="checkbox"/> 一般的な接続:	TCP/IP: Ok
<input type="checkbox"/> SNMP:	タイムアウト
<input type="checkbox"/> ノードタイプ:	タイムアウト
<input checked="" type="checkbox"/> テストトラップ:	テストトラップを受信しました
OK   リトライ   ヘルプ	

### 3) SVOM 5.01/5.10 の場合

結果は下図のとおりです。

「Remote Connector: 失敗」は、ServerView ESXi CIM Provider に、Remote Connector 機能が存在しないためです。問題ありません。

また、ServerView ESXi CIM Provider は SNMP をサポートしていないため、「SNMP」がタイムアウトと表示されます。

この結果は正常ですので、問題ありません。

<input checked="" type="radio"/> In-band接続	<input type="radio"/> Out-of-band接続
<b>svom208-host - 10.21.136.208</b>	
<input type="checkbox"/> 一般的な接続:	Ping: Ok, Remote Connector: 失敗
<input type="checkbox"/> SNMP:	TIMEOUT
<input checked="" type="checkbox"/> ノードタイプ:	サーバ, Manageable, ESX Server接続: Ok
<input type="checkbox"/> テストトラップ:	タイムアウト
OK   リトライ   ヘルプ	

また、テストトラップがタイムアウトした場合は、以下の項目を確認してください。

<input type="checkbox"/> テストトラップ:	タイムアウト
-----------------------------------	--------

- SVOM V5.30.06 以降を使用しているか確認してください。
- CIM Indication は、SVOM がインストールされているサーバの TCP ポート 3170 番宛て(SVOM V7.20.07 以前の場合)、または 3169 番宛て(SVOM V7.20.08 以降の場合)に通知されます。このポートがファイアウォールなどによって遮断されていないか確認してください。
- SVOM をインストールした環境で複数の IP アドレス(NIC)を使用しており、且つ、そのうちのいずれかが VMware vSphere ESXi サーバと通信できない IP アドレスの場合、ServerView ESXi CIM Provider からのトラップ(CIM Indication)を受信できない場合があります。  
この場合、サーバリストで該当サーバを右クリックし、「サーバのプロパティ」を開き、サーバのプロパティ画面から「CIM」タブを開いて、VMware vSphere ESXi サーバと通信できる IP アドレスを「ユーザのサブスクリプションアドレス」に登録してください。
- 1 台の VMware vSphere ESXi 5 サーバを、複数の SVOM のサーバリストに登録している場合、そのうちのいずれかから VMware vSphere ESXi 5 サーバを削除すると、他の SVOM でトラップ(CIM Indication)を受信でき

なくなる場合があります。

この場合は、全ての SVOM のサーバリストから対象の VMware vSphere ESXi 5 サーバを削除後、改めて SVOM のサーバリストに登録してください。

### 13. ServerView CIM Provider による監視で vSphere Auto Deploy 機能を使用する場合

vSphere Auto Deploy 機能を使用している VMware vSphere ESXi 5 サーバを、ServerView ESXi CIM Provider を使用し監視する際に、起動後の VMware vSphere ESXi 5 サーバの IP アドレスが、ServerView Operations Manager に登録済みの IP アドレスから変更される場合、ServerView Operations Manager に再登録を行う必要があります。

起動後の VMware vSphere ESXi 5 サーバの IP アドレスが、ServerView Operations Manager に登録済みの IP アドレスから変更が無い場合は再登録の操作は不要です。

ServerView Operations Manager が VMware vSphere ESXi 5 サーバからイベント通知を受信するために、ServerView Operations Manager がインストールされているシステムの IP アドレスを VMware vSphere ESXi 5 サーバに登録する必要があります。この登録設定が行われていない ESXi イメージを使用するとイベント通知を ServerView Operations Manager に送ることができません。

### 14. ServerView CIM Provider による監視での VMware vSphere ESXi 5 の sfcdb サービスについて

VMware vSphere ESXi 5 サーバの ServerView ESXi CIM Provider を使用した監視は、VMware vSphere ESXi 5 の sfcdb サービス機能を使用しています。

このため sfcdb サービスが正常に動作していないと VMware vSphere ESXi 5 サーバの監視が正常に行えません。

監視が正常に行えていない場合、sfcdb サービスが正常に動作しているか確認してください。

また、sfcdb サービスを再起動することにより、正常に監視が行えるようになる場合があります。

#### sfcdb サービスの再起動方法

・VMware vSphere ESXi 5 サーバにログオンし、以下のコマンドを実行

```
# /etc/init.d/sfcdb-watchdog stop  
# /etc/init.d/sfcdb-watchdog start
```

#### sfcdb サービスの確認方法

・VMware vSphere ESXi 5 サーバにログオンし、以下のコマンドを実行

```
# /etc/init.d/sfcdb-watchdog status
```

正常に動作している場合は、コマンドの結果が"sfcdb is running"となります。

※ 多数の CIM クライアントを使用しているなど非常に高負荷な場合には sfcdb サービスが正常に動作しなくなる可能性があります。

### 15. ServerView CIM Provider による監視でのソフトウェアウォッチドッグの使用について

ServerView ESXi CIM Provider V6.00.04 よりサポートします。

SVOM V6.00 より、設定内容の表示をサポートします。

PRIMERGY における、ソフトウェアウォッチドッグ／ブートウォッチドッグの設定は、SVOM V6.00.07 よりサポートします。

ソフトウェアウォッチドッグをシステム監視にのみ使用することができます。

以下の条件を満たす設定が必要です。

異常時動作: 継続稼動

タイムアウト時間: 4 分以上

### 16. ServerView ESXi CIM Provider によるシステムシャットダウン機能について

ServerView ESXi CIM Provider によるシステムシャットダウン機能は未サポートです。

このため、iRMC Web インターフェースの「電源制御」→「Power On/Off」→「電源制御」画面の「電源切断(シャットダウン)」、「リセット(シャットダウン)」を実行しても、システムシャットダウンは行なわれません。



17. **富士通専用のインストールイメージ、オフラインバンドルのアップデートについて**  
 インストールイメージ、またはオフラインバンドルでのアップデートを行った場合、ServerView ESXi CIM Provider の版数に変更される場合があります。
18. **富士通専用のインストールイメージによるインストール、またはオフラインバンドルの適用でインストールされるモジュールから、アップデートが必要になる場合**  
 インストールイメージによるインストール、またはオフラインバンドルの適用を行った場合、ServerView ESXi CIM Provider のアップデートが必要になる場合があります。

ServerView ESXi CIM Provider のアップデート手順の詳細については、「ServerView ESXi CIM Provider VMware vSphere ESXi 5 インストールガイド」をご参照ください。

#### インストールイメージ、オフラインバンドル、および ServerView ESXi CIM Provider のバージョンの確認方法

- ・ vSphere CLI (別途 VMware 社からのダウンロード、及びインストールが必要です) によるバージョン確認
  - A) 「スタート」メニューから、「VMware」⇒「VMware vSphere CLI」⇒「Command Prompt」を実行し、コマンドプロンプトを起動します。
  - B) 以下のコマンドで bin フォルダに移動します。  
`> cd bin`
  - C) vSphere CLI の以下のコマンドを実行し、fujitsu-conf のバージョンを確認してください。  
`> esxcli -s <該当 ESXi ホストの管理ネットワーク IP アドレス> -u <ユーザ名> -p <パスワード> software vib list | find "fujitsu-conf"`

[出力結果例]

```
fujitsu-conf      5.5.0-333.1.0 Fujitsu PartnerSupported      2016-06-15
```

上記下線部がインストールイメージ、またはオフラインバンドルのバージョンとなります。

- D) vSphere CLI の以下のコマンドを実行し、svscimprovider のバージョンを確認してください。  
`> esxcli -s <該当 ESXi ホストの管理ネットワーク IP アドレス> -u <ユーザ名> -p <パスワード> software vib list | find "svscimprovider"`

[出力結果例]

```
svscimprovider    7.01-10.60    Fujitsu VMwareAccepted      2016-06-15
```

上記下線部が ServerView ESXi CIM Provider のバージョンとなります。

#### ServerView ESXi CIM Provider のアップデートが必要となる機種とインストールイメージ、またはオフラインバンドルの組み合わせ

- 機種:  
 BX2560 M2, BX2580 M2, RX2530 M2, RX2540 M2, RX2560 M2, TX1320 M2, TX1330 M2, TX2560 M2
- インストールイメージ:  
 FUJITSU Custom Image for VMware ESXi 5.5.0 Update 3b Install CD (バージョン:333-1)
- オフラインバンドル  
 FUJITSU Custom Image for VMware ESXi 5.5.0 Update 3b Offline Bundle (バージョン:333-1)

上記の組み合わせに該当する場合、ServerView ESXi CIM Provider を V7.20.22 以降の版数へのアップデートを行ってください。

※ ServerView ESXi CIM Provider の更新ではインストールイメージ、オフラインバンドルの版数に変更されません。

ServerView ESXi CIM Provider が既にアップデートされている環境では特に変更を行う必要はありません。

## 19. VMware vSphere ESXi 5 の Plugins のリソース変更について

VMware vSphere ESXi 5 で ServerView ESXi CIM provider を使用する場合は、CIM provider の使用するリソースが不足し、動作が不安定になることがあるため、plugins のメモリリソースの制限値を以下の通りに変更してください。

なお、plugins の変更に伴い、vmvisor のメモリリソースの制限値の変更も必要となります

VMware vSphere ESXi をアップデートまたはアップグレードした場合には、再度、設定が必要になる場合があります。

※ 上記の制限値の変更は、ESXi が割り当て可能な CIM provider のメモリリソースの上限を引き上げます。

この CIM provider のメモリリソースは、予め ESXi 自身が使用するために確保しているメモリリソースから、ESXi 自身の動作に支障がない範囲で必要に応じて割り当て使用されます。

そのため、ESXi 自身や仮想マシンの動作に影響はありません。

表:メモリリソース

変更前の plugins 値*1		ESXi5.5 Update3b 以降			左記以外の ESXi5 *3	
		260MB	600MB	650MB	210MB	600MB
設定値	plugins	650MB	650MB	変更不要	600MB	変更不要
	vmvisor *2	+390MB	+50MB		+390MB	

\*1: VMware vSphere ESXi をインストール/アップデート/アップグレードしたあとの値

\*2: 現在の設定値に指定の値を加算してください

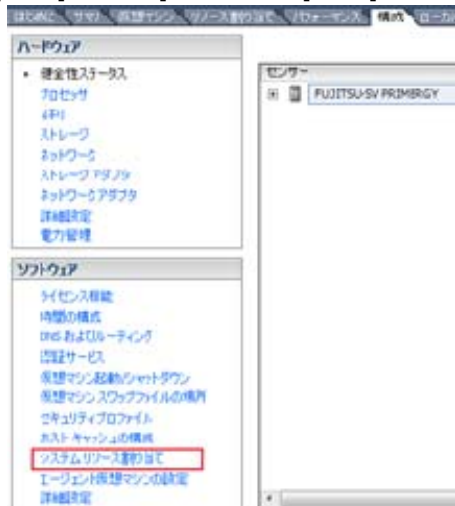
\*3: VMware vSphere ESXi 5.0, 5.1, 5.5 Update3 以前

### [変更手順]

1) vSphere Client から vCenter または ESXi ホストに接続します。

2) インベントリツリーから対象の ESXi ホストを選択します。

3) [構成]タブの [ソフトウェア] で [システムリソース割り当て] を選択します。

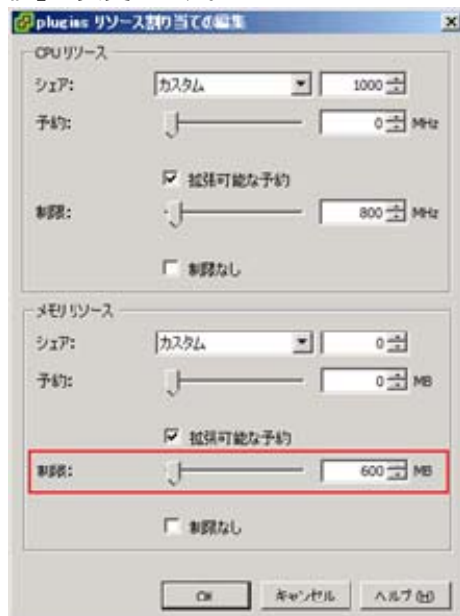


4) [システムリソース割り当て] の [詳細] をクリックします。

- 5) [システムリソースプール]で host > vim > vmvisor > plugins を選択し、[設定の編集] をクリックします。

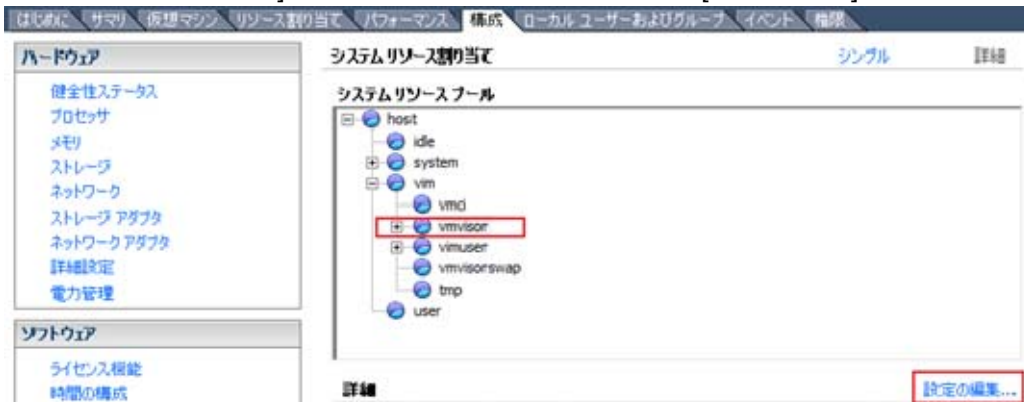


- 6) [plugins リソース割り当ての編集] で [メモリリソース] の [制限] を「表:メモリリソースで指定された設定値」に変更します。

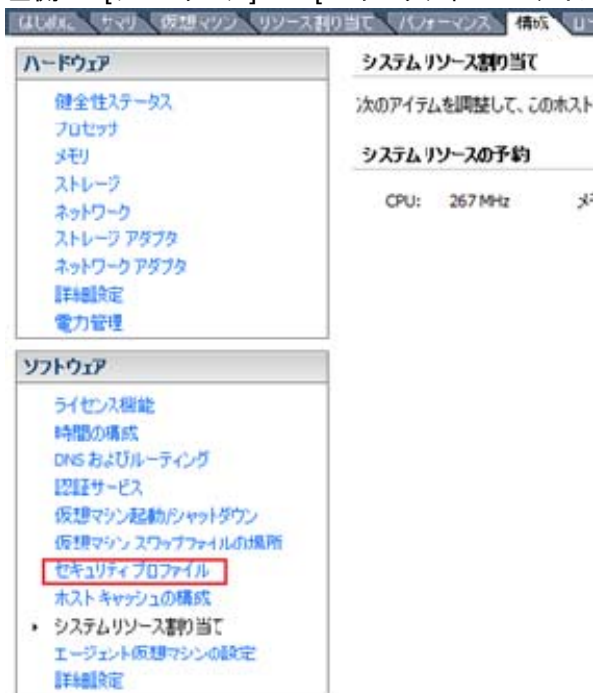


- 7) [OK] をクリックします。

- 8) [システムリソースプール]で host > vim > vmvisor を選択し、[設定の編集] をクリックします。



- 9) [vmvisor リソース割り当ての編集] で [メモリリソース] の [制限] を「現在の設定値 + 表:メモリリソースで指定された設定値」に変更します。
- 10) [OK] をクリックします。
- 11) 左側の [ソフトウェア] で [セキュリティプロファイル] を選択します。



- 12) [サービス] の [更新] をクリックします。
- 13) [サービス] の [プロパティ] をクリックします。
- 14) [サービスプロパティ]で [CIM サーバ] を選択し、[オプション] をクリックします。



- 15) [停止] をクリックします。  
※ [停止]コマンドが、タイムアウトして失敗する場合があります。  
[停止]に失敗した場合は、再度実行をお願いします。  
[停止]コマンドがグレースアウトしている場合は、サービスの停止は完了していますので、16) に進んでください。
- 16) [開始] をクリックします。
- 17) [OK] をクリックして終了します。

## 20. トラブル対応について

VMware vSphere ESXi 5 上でのハードウェア監視機能は、ServerView ESXi CIM Provider で実現します。しかしながら、VMware vSphere ESXi 5 上では ServerView ESXi CIM Provider が利用可能なリソースに制約があり、ServerView ESXi CIM Provider で問題が発生した時に十分な情報が得られず、原因究明に至らない場合があります。回避策として CIM Provider の再インストール等をお願いする場合がございますので、ご了承ください。

## 【RAID 監視】

### 1. ServerView RAID Manager のインストール先について

ServerView RAID Manager を用いて VMware vSphere ESXi 5 サーバ上の RAID 監視をおこなう場合、ゲスト OS 上に ServerView RAID Manager をインストールするか、もしくは別途管理サーバ (Windows/Linux 上で動くサーバ) を準備してそこにインストールしてください。

### 2. ServerView RAID Manager のインストール手順/設定方法について

ServerView RAID Manager をインストールした後は ESXi 5 固有の設定が必要です。インストール手順と設定方法については、「ServerView RAID Manager VMware vSphere ESXi 5 インストールガイド」(別紙)をご参照ください。

### 3. ServerView RAID Manager から発行される SNMP Trap について

VMware vSphere ESXi 5 サーバを監視する場合、ServerView RAID Manager が発行する SNMP Trap は、ESXi サーバを監視するサーバ (ServerView RAID Manager をインストールしたサーバ) が Trap の発行元となりますのでご注意ください。

### 4. VMware ESX 4 からアップグレードする場合

VMware ESX4 から VMware vSphere ESXi 5 にアップグレードする場合、ServerView RAID Manager の再インストール(\*1)が必要です。

VMware vSphere ESXi 5 にアップグレードする前に ServerView RAID Manager をアンインストールし、アップグレードした後に ServerView RAID Manager をインストールしてください。また、インストールした後は ESXi 5 固有の設定が必要です。

インストール手順と設定方法については、「ServerView RAID Manager VMware vSphere ESXi 5 インストールガイド」(別紙)をご参照ください。

\*1 VMware ESX4 ではサービスコンソールに ServerView RAID Manager をインストールしていましたが VMware vSphere ESXi 5 にはサービスコンソールが存在しないため、ServerView RAID Manager を再インストールする必要があります。

■監視方法による機能比較(SVOM)

カテゴリ	機能	CIM Provider		リモートマネジメントコントローラ使用 監視※1
		ESXi 4 向け	ESXi 5 向け	
SVOM 主な機能	センサステータス情報の取得	○※2	○※2	○
	パフォーマンス情報の取得	×※3	×※3	×※3
	イベント通知機能	×	○※4	○
	イベントログへ記録	×	×	×
	アーカイブ、インベントリ情報の取得	×	×	○
	ASR&R ウォッチドッグ機能	○※5	○※5	×
	ASR&R スケジュール運転機能	×※6	×※6	×
	閾値監視	×	×	×
	電力使用量の監視	×	×	×
	ソフトウェア、ファームウェアの管理	×	×	×
	接続テスト	○※7	○	○※8
	シングルシステムビュー システムステータス	環境	○	○
外部記憶装置		×	○※9	×
電源		○	○	○
ベースボード		○	○	○
ネットワーク		○	○	○
ドライバモニタ		×	○※10	×
シングルシステムビュー システム	システム情報の取得	○	○	○
	エージェント/エージェントレス サービス/CIM 情報	○	○	○※11
	オペレーティングシステム	○	○	×
	プロセス	×	×	×
	ファイルシステム	×	×	×
	ディスクパーティション	×	×	×
	リソース	×	×	×
シングルシステムビュー メンテナンス	バッテリー情報	×	×	○
	システムイベントログ	×	×	×
	サーバのプロパティ	×	×	○
	ASR&R	○※6	○※6	○
	起動オプション	×	×	○
	リモートマネージメント	○	○	○
	診断情報収集(PrimeCollect)	×	×	×
	オンライン診断	×	×	×
CSS	×	×	○	
シングルシステムビュー 仮想マシン	物理マシン情報	○	○	×
	仮想マシン情報	×	○	×
スレッショールド マネージャ	閾値監視機能	×	×	×
	パフォーマンス監視	×※3	×※3	×※3
パフォーマンス マネージャ	パフォーマンスの取得	×	×	×
	パワーモニタ	×	×	×
アップデート マネージャ		×	×	×

○: 可能(ただし、ServerView Agents を使用するシステムと内容がことなる場合があります)

×: 不可能

※1) SVOM 経由でのリモートマネジメントコントローラを使用したサーバ監視・管理は iRMC S4 / S5 を搭載した機種でのみ可能です。SVOM 経由でのリモートマネジメントコントローラを使用したサーバ監視・管理を行うには、SVOM V7.00.05 以降が必要です

- ※2) VMware ESXi 5 のサーバ状態情報表示を行う場合、SVOM V5.01.03 以降が必要です。  
ServerView ESXi CIM Provider V5.30.04～V6.21.06 を使用する場合は SVOM V5.50.09～V6.21.08 が必要です。
- ServerView ESXi CIM Provider V6.31.10 以降を使用する場合は SVOM V6.31.03 以降が必要です。
- ※3) 配下のゲスト OS についてもパフォーマンス監視は未サポートとなります。
- ※4) VMware vSphere ESXi 5 サーバからのイベント(アラーム)受信を行う場合、SVOM はバージョン V5.30.06 以降が必要です。
- ※5) ServerView ESXi CIM Provider V6.00.04 以降において、ソフトウェアウォッチドッグ/ブートウォッチドッグ機能のみをサポートします。なお、ソフトウェアウォッチドッグ/ブートウォッチドッグの設定は、SVOM V6.00.07 よりサポートします。
- ※6) スケジュール運転は ServerView Operations Manager から設定できません。iRMC Web インターフェースの「電源制御」→「電源制御オプション」→「自動電源投入/切断時刻設定」にて電源投入のスケジュール運転は可能です。  
ただし、電源切断のスケジュール運転は未サポートです。システムシャットダウン/電源切断は行われません。
- ※7) 接続テストの項目のうち、SNMP、テストラップはタイムアウトとなります。
- ※8) 接続テストの項目のうち、一般的な接続は、TCP/IP: Ok, Remote Connector: 失敗、テストラップは、設定エラー: テストラップ(例 エージェントがインストールされていない、許可が与えられていない)となります。
- ※9) SVOM V6.30.05 より外部記憶装置で RAID 情報の表示をサポートします。
- ※10) ServerView ESXi CIM Provider V6.31 以降にはドライバモニタ機能が実装されています。
- ・ ドライバが検出したエラーを、ドライバモニタ機能が検出可能な場合、イベントログにエラーが記録されます。
  - ・ SVOM 側にはドライバモニタ画面がないため、検出したエラーをイベントログに記録するだけでラップは送信しません。
- ※11) エージェント/エージェントレスサービス/CIM が導入されていないので、エージェント名: エージェントレス管理サービス、リビジョン: n/a と表示されます。

## 【更新履歴】

版数	変更内容	日付
初版	新規作成	2011年11月15日
2版	<b>【本体監視について】</b> 「5.その他」に記事追加 - [ServerView Operations Manager の主な機能]比較表に「アーカイブ採取」項目追加 - [ServerView Operations Manager の主な機能]比較表の※1を変更 <b>【RAID 監視】</b> 1、2、3、4項の記述修正	2011年12月20日
3版	<b>【本体監視について】</b> - 「5.その他」を「5. ServerView Operations Manager のバージョンについて」に変更 - 「6. vCenter と ServerView Operations Manager の同一サーバへのインストールについて」を追加 <b>【監視対象サーバ別機能比較】</b> - ※4を追加	2012年3月27日
4版	<b>【本体監視について】</b> - 「5. ServerView Operations Manager のバージョンについて」に記事を追加 - 「7. ServerView ESXi CIM Provider によるシステムシャットダウン機能について」を追加 <b>【監視対象サーバ別機能比較】</b> - 「ASR(自動復旧機能)」項目を変更 - ※1に記事を追加 - ※5を追加	2012年7月3日
5版	<b>【本体監視について】</b> - 「8 CIM Indication で使用されるポートについて」を追加 - 表[監視対象サーバ用エージェントソフト及び管理サーバ用マネージャソフトのインストール可否]、[監視対象サーバ用エージェントソフトの要件と機能比較]の項目見直し	2013年3月12日
6版	<b>【本体監視について】</b> - 「vSphere Auto Deploy 機能を使用する場合」を追加	2013年7月25日
7版	<b>【本体監視について】</b> - 「VMware vSphere ESXi 5 の sfcdb サービスについて」を追加 <b>【監視対象サーバ別機能比較】</b> - 「外部記憶装置」項目を変更 - ※8を追加	2014年4月25日
8版	<b>【監視対象サーバ別機能比較】</b> - 「ドライバモニタ」項目を変更 - ※9を追加	2015年5月18日
9版	サーバ監視手段として Out-Of-Band 監視があり、また推奨であることを記載 <b>【本体監視について】</b> [監視対象サーバ用エージェントソフト及び管理サーバ用マネージャソフトのインストール可否]に ServerView Agentless Service を追加 <b>【監視対象サーバ別機能比較】</b> を <b>【監視方法による機能比較(SVOM)】</b> に名称変更 - Out-Of-Band 監視項目を追加 - ※3を削除、番号振り直し、※9～※11を追加	2015年7月21日
10版	「Out-Of-Band 監視」の記載を「リモートマネジメントコントローラを使用した、サーバ監視・管理」に変更	2015年9月1日
11版	<b>【監視方法による機能比較(SVOM)】</b> - ※8の記事内容を修正	2015年9月8日
12版	<b>【本体監視について】</b> - 「6. vCenter Server と ServerView Operations Manager の同一サーバへのインストールについて」の内容を修正	2015年11月10日
13版	<b>【本体監視について】</b> - 「6. vCenter Server と ServerView Operations Manager の同一サーバへのインストールについて」の内容を修正 - 「12.カスタムイメージ、オフラインバンドルのアップデートについて」を追加	2016年1月5日
14版	<b>【本体監視について】</b> - 「6. vCenter ServerV5.x と ServerView Operations Manager の同一サーバへのインストールについて」のタイトルと内容を修正	2016年1月19日
15版	<b>【本体監視について】</b> - 「6. vCenter ServerV5.x と ServerView Operations Manager の同一サーバへのインストールについて」の内容を修正	2016年2月16日
16版	<b>【本体監視について】</b> - 「9. CIM Provider による監視で vSphere Auto Deploy 機能を使用する場合」の内容を修正	2016年3月1日



17 版	<b>【本体監視について】</b> - 「10. CIM Provider による監視での VMware vSphere ESXi 5 の sfcdb サービスについて」の内容を修正	2016 年 4 月 26 日
18 版	<b>【本体監視について】</b> - 「5. ServerView Operations Manager のバージョンについて」の内容を修正 - 「13. カスタムイメージでインストールされるモジュールから個別アップデートが必要な場合」を追加 <b>【監視方法による機能比較 (SVOM)】</b> - ※1の内容を修正	2016 年 8 月 9 日
19 版	<b>【重要】</b> 記事内容を追加 <b>【本体監視について】</b> - 「5.ServerView Operations Manager のバージョンについて」の内容を修正 以下の項目を新規追加、それに伴い既存の記事の番号を修正 - 「7.ServerView Operations Manager への VMware vSphere ESXi 5 サーバのユーザ/パスワードの登録について」 - 「8.VMware vSphere ESXi 5 のロックダウンモードについて」 - 「10.SVOM クライアント(ブラウザ)と VMware vSphere ESXi 5 のサーバ間の通信について」 - 「12.「接続テスト」について」 - 「16.ServerView ESXi CIM Provider によるシステムシャットダウン機能について」 - 「19.VMware vSphere ESXi 5.0 の Plugins のリソース変更について」 - 「20トラブル対応について」 <b>【監視方法による機能比較 (SVOM)】</b> 注釈の記事を修正、番号を振り直し その他語句の修正	2017 年 1 月 11 日
20 版	<b>【本体監視について】</b> - 「5.ServerView Operations Manager のバージョンについて」の内容を修正 - 「7.ServerView Operations Manager への VMware vSphere ESXi 5 サーバのユーザ/パスワードの登録について」の内容を修正 <b>【監視方法による機能比較 (SVOM)】</b> 注釈の記事を修正 その他語句の修正	2017 年 1 月 31 日
21 版	<b>【本体監視について】</b> - 「19.VMware vSphere ESXi 5 の Plugins のリソース変更について」の内容を修正	2017 年 3 月 13 日
22 版	<b>【本体監視について】</b> - 「11.CIM Indication で使用されるポートについて」の内容を修正 - 「12.「接続テスト」について」の内容を修正 その他語句の修正	2017 年 3 月 28 日
23 版	<b>【重要】</b> 参考マニュアルを修正 <b>【本体監視について】</b> - 「4.ESXi のアップグレードを行う場合」の内容を追加 - 「5.ServerView Operations Manager のサーバ監視について」のタイトル及び内容を修正 - 「17.富士通専用のインストールイメージ、オフラインバンドルのアップデートについて」のタイトル及び内容を修正 - 「18.富士通専用のインストールイメージによるインストール、またはオフラインバンドルの適用でインストールされるモジュールから、アップデートが必要になる場合」のタイトル及び内容を修正 その他語句の修正	2017 年 12 月 12 日

以上